

經 濟 課

# 商 工 係

## 1 商工振興

インフレと不況の混在する中で、福生市の商業は、先進商業都市との競合、消費者の買控え等により、かつてない状況におかれた。一方工業は二次、三次の下請企業が多く、受注量の減少、競争による値くずれ等、不況のあおりをまともに受けた。

こうした、不況や混乱の事態を乗り切るための課題は多く、積極的な経営努力と経営方針の転換等その対応策はきわめて重要視される。

福生市の商工業の振興を図るための総合的な業務は、商工会と一体となり実施したが、商工会に対しては、経営指導員の増員に伴い、組織率の向上、組織の育成強化等、経営指導態勢の向上を図るよう強く要望した。

### (1) 中小企業振興資金

市内商工業者の資金需要に応じるため、特定金融機関から、その事業資金の融資を受けやすくし、企業の振興に資する制度で、特定金融機関に2,000万円の資金を預託し、預託金の5倍までの金額1億円を融資できるものである。

なお、昨年と比較し、融資件数、融資額もそれぞれ増加し、特に工業者の利用が多かった。また、特定金融機関は、福生地区に集中していたため、西武信用金庫拜島支店の申請に基づき、昭和49年10月24日付けで特定金融機関に指定した。

なお、回収状況については、特定金融機関と連絡を密にし、回収の努力をしているが、昨年からの不況による影響も強いため延滞等の事故が例年になく多かった。

#### ア 預託金融機関

埼玉銀行福生支店

三和銀行福生支店

西武信用金庫福生支店

青梅信用金庫福生支店

振興信用組合福生支店

福生市農業協同組合

西武信用金庫拜島支店

1. 預託金

金融機関名	預託金	限度額
埼玉銀行福生支店	2,500千円	12,500千円
三和銀行 "	2,600	13,000
西武信用金庫 "	4,200	21,000
青梅信用金庫 "	1,500 追加1,000	12,500
振興信用組合 "	3,400	17,000
福生市農業協同組合	1,800 追加1,000	14,000
西武信用金庫拜島支店	1,000	5,000
合計	19,000	95,000

ウ 申込件数及び決定件数

	申込件数	金額	決定件数	金額
運転資金	39	36,100千円	32	28,700千円
設備資金	8	10,900	6	8,700
合計	47	47,000	38	37,400

※ なお、申込みのうち

- 本人の取下げ，運転資金6件590万円，設備資金2件220万円
- 減額（保証協会付），運転資金1件100万円→50万円
- 審査会決定不貸付，運転資金1件100万円があった

また、融資審査会は計43回開催した。

エ 金融機関別貸付内訳

金融機関名	貸付 件数	貸付 金額	内 訳			
			運転資金		設備資金	
			件数	金額	件数	金額
埼玉銀行福生支店	3	3,000千円	3	3,000千円	0	0千円
三和銀行福生支店	4	5,000	3	3,000	1	2,000
西武信用金庫福生支店	9	8,300	8	6,600	1	1,700
青梅信用金庫福生支店	8	9,600	6	5,600	2	4,000
振興信用組合福生支店	3	3,000	3	3,000	0	0
福生市農業協同組合	7	6,000	7	6,000	0	0
西武信用金庫拜島支店	4	2,500	2	1,500	2	1,000
計	38	37,400	32	28,700	6	8,700

オ 金融機関別融資状況及び運用残高表（昭和47～昭和49）

金融機関名	資金別	昭和47年度		昭和48年度		昭和49年度		総 額		
		件数	融資額	件数	融資額	件数	融資額	件数	融資額	運用残高
埼玉銀行	運転	6	4,600	1	1,000	3	3,000	10	8,600	3,119
福生支店	設備	1	1,500	1	2,000	0	0	2	3,500	2,271
三和銀行	運転	—	—	6	6,000	3	3,000	9	9,000	6,048
福生支店	設備	—	—	0	0	1	2,000	1	2,000	1,722
西武信用金庫	運転	7	5,200	9	8,200	8	6,600	24	20,000	9,451
福生支店	設備	4	2,200	2	4,000	1	1,700	7	7,900	5,332
青梅信用金庫	運転	—	—	2	2,000	6	5,600	8	7,600	5,168
福生支店	設備	—	—	0	0	2	4,000	2	4,000	3,680
振行信用組合	運転	4	4,000	6	5,500	3	3,000	13	12,500	5,614
福生支店	設備	2	1,300	1	2,000	0	0	3	3,300	1,040
福生市農業	運転	4	2,500	2	1,200	7	6,000	13	9,700	5,433
協同組合	設備	0	0	1	2,000	0	0	1	2,000	1,370
西武信用金庫	運転	—	—	—	—	2	1,500	2	1,500	1,470
拜島支店	設備	—	—	—	—	2	1,000	2	1,000	1,000
総 計	運転	21	16,300	26	23,900	32	28,700	79	68,900	36,299
	設備	7	5,000	5	10,000	6	8,700	18	23,700	16,415
	合計	28	21,300	31	33,900	38	37,400	97	92,600	52,714

(2) 商工団体育成並びに実施状況

福生市商工会（会員数885人）が実施する商工業振興事業等に対し、商工会補助金算定基準に基づき、商工会管理及び一般振興事業、経営指導員及び補助員の行う経営改善普及事業に要する人件費として 7,229,000円を、一般事業費として 300,000円、合計 7,529,000円を補助した。

なお、4月1日から経営指導員1人の増員により、商工会の行う事業は、一段と強化され、昨年と比較し、大幅な実績を収めた。経営指導員による巡回及び窓口指導を1,003件、講習会等の開催により行った集団、個別指導を878件、その他金融のあっせん347件をはじめ税務、経理相談、研修会等を、また、総合振興事業として優良従業員の表彰、珠算検定の実施、更に新規事業として、大規模小売店法に基づく商業活動調整協議会の設置による大

型店舗調整機能の充実、建設部会の創設、懸案の商工名鑑の発刊等が特筆される。

なお、例年行っている商店の近代化の研究、福利厚生事業、広報活動事業、青年部活動等数多くの事業も実施され、将来への一層の飛躍が期待される。

### (3) 商店コンクール

市内商業者の環境は、大型店の進出、昨年からの不況等により、厳しい状況にあるため、経営状況、店舗施設並びに販売状況、接客状況等の審査を通じて、商店の近代化、消費者に親しまれる商店街づくりを図るよう要綱に基づき商店コンクールを実施した。

実施年月日	昭和49年9月24日
参加店舗	12店
審査員	学識経験者(中小企業診断士)

審査の結果は、次のとおり。

最優秀賞	1店
優秀賞	2店
優良賞	5店
努力賞	4店

### (4) 通行量調査

駅前通り及び銀座通りの交通規制計画に伴い、該当区域内の車及び歩行者の通行量、路上駐車の調査を6月19日、23日の2回行った。

なお、この調査と併せて、買物客の意識調査を行った結果、特に駐車場の設置、アーケードの設置、東西連絡路等、施設の充実を望む声が多く、他に、商店街の店舗構成の充実を望む声が多かった。

## 2 七夕まつり

商業振興の一環として行っている福生七夕まつりは、東京地区における一大観光事業であるとともに、市民まつりとしての要素も含め、年々盛大になっており、本年度第24回を数え、8月4日(日)から7日(水)までの4日間近年にない好天に恵まれ盛大に開催された。

また、観光客においては、国鉄・バス・タクシー会社に要請し、輸送対策に万全を配し、都内をはじめ近県から約60万人の人出で賑わった。

なお、行事大容は、次のとおり。

(1) 飾り付け並びに竹飾り壁面飾りコンクールについて

※飾り付けコンクール8月4日(日)午後7:00～午後9:30

	第1地区 (中央商栄会)	第2地区 (その他)	合計
竹飾りの部	34	28	62
壁面飾りの部	12	7	19
合計	46	35	81

なお、飾り付け参加店舗数は249店

(2) アトラクションについて

月日	催しもの
8月4日 (日)	おみこし・山車パレード、福生民謡パレード 七夕飾り付けコンクール
8月5日 (月)	七夕飾り付けコンクール表彰式、ミス七夕移動撮影会 自衛隊・交通少年団パレード・佼成グループ音楽隊パレード、素人のど自慢大会
8月6日 (火)	米第5空軍・ボーイスカウト・ガールスカウトパレード、お笑い七夕寄席 ひょっとこ踊り瑞穂連パレード
8月7日 (水)	民音富士吹奏楽団鼓笛隊パレード、ミス東京パレード 日本舞踊と民謡おどり

(3) その他

ア 栄通り以西の交通規制を午後9時で解除し、露店出店も午後9時までとした。

イ 露店商について、環境保全課及び実行委員会で紙袋、竹ボウキ100本を用意し、清掃については特に協力を要請した。

ウ 福生警察署による各種取扱件数

迷子保護36件、遺失物5件、拾得物6件、暴行傷害1件、盗難1件

エ 期間後の行事として、写真コンクールの審査を9月28日(土)に、表彰式を10月20日(日)に行った(応募作品数はカラーの部247点、白黒の部241点)。

オ 七夕まつり参加団体に対する感謝状の贈呈式を10月16日(水)に、37団体に対し行った。

### 3 統 計

#### (1) 商業統計調査

2年に一度実施される調査で、50調査区により商店を対象に、商店名、経営組織、従業者数、年間販売額について、5月1日現在で調査した。(調査結果表 1)

#### (2) 就業構造基本調査

3年に一度実施される調査で、昭和45年国勢調査区のなかから総理府統計局が指定した2調査区により、調査区内に居住している人を対象に、どんな産業や職業に従事しているか、勤務時間、収入、また産業間、地域間でどのように移動しているかなど就業状態について、7月1日現在で調査した。

#### (3) 全国消費実態調査

5年に一度実施される調査で、昭和45年国勢調査区のなかから、総理府統計局が指定した3調査区により、世帯の収入がどれくらいあり、どのようなものにいくら支出されたかを調べ、その支出の内容が収入額や家族数によって、どのように異なっているか家計の実態を9月から11月までの3月間で調査した。

#### (4) 工業統計調査

毎年実施される調査で、8調査区により「製造業」に属する事業所を対象に、事業所名、経営組織、従業者数、製造品出荷額について、12月31日現在で調査した。

(調査結果表 2)

#### (5) 1975年農業センサス

5年に一度実施される調査で、20調査区により、農家(経営耕地面積が5アール以上あるか、あるいは過去1年間の農産物販売金額が7万円以上ある世帯)を対象に世帯員、土地、収穫面積果樹園面積等について、2月1日現在で調査した。(調査結果表 3)

#### (6) 昭和50年国勢調査、調査区設定事務

昭和50年国勢調査の実施に当たり、国勢調査員の調査担当区域を明確にし、調査の重複、脱漏を防ぎ、もって調査の正確を期するとともに、あわせて各種統計調査の利用に供することを目的として、昭和49年10月1日現在によって設定した。

なお、設定方法基準として、道路、鉄道、河川などめいりょうな地形・地物を境界とし、1調査区内に含まれる世帯数が原則として、おおむね50世帯となるように区分して設定する。

当市においては300調査区とした。

#### (7) 昭和50年事業所統計調査基本調査区設定事務

事業所を対象とする統計調査(商業、工業、事業所統計)に共通する調査区を設定すること

とにより各種統計調査の充実並びに基本調査区設定事務の簡素化を図ることを目的として、  
7月1日現在に  
よって設定した。

事業所統計調査においては81基本調査区とした。

昭和49年商業統計調査結果概数

(調査結果表 1)

区 分	事 業 所 数	従 業 者 数
総 数	1,087	4,164 人
卸 売 業	53	302
小 売 業	650	2,582
飲 食 店	384	1,280



昭和49年工業統計調査結果(概数)

(調査結果表 2)

49. 12. 31 現在

		従業員19人以下	従業員20人以上	総 数	
工 場 数		80	28	108	
従業者数	総 数 (人)	499	1,559	2,058	
	常用従業者 (人)	411	1,559	1,970	
	個人事業主及び 家族従業者 (人)	88		88	
現金給与総額 (万円)		38,712	280,070	318,782	
原材料使用額 (万円)		106,357	758,938	865,295	
製造品在庫額等	製 造 品 (万円)	年初	52,986	52,986	
		年末	121,455	121,455	
	原材料及び 燃 料 (万円)	年初	56,664	56,664	
		年末	61,815	61,815	
	半製品及び 仕掛品 (万円)	年初	35,198	35,198	
		年末	36,969	36,969	
有形固定資産	年初現在額 (万円)		24,769	260,943	285,712
	取 得 額 (万円)		1,928	164,933	166,861
	除 却 額 (万円)		47	14,274	14,321
	減価償却額 (万円)		27,054	40,989	68,043
製造品出荷額	総 数 (万円)		229,948	1,623,415	1,853,363
	製造品出荷額 (万円)		154,404	1,531,293	1,685,697
	加工賃収入額 (万円)		75,025	92,122	167,147
	修理工賃収入額 (万円)		519		519
国内消費税額 (万円)			18,927	18,927	

1975年農業センサス結果概数

(調査結果表 3)

50. 2. 1 現在

農業集落	農家数	耕地面積	耕作放棄地
南	29	1,075 <sup>a</sup>	288 <sup>a</sup>
武蔵野	6	84	10
内出	31	738	128
鍋ヶ谷戸	36	678	169
熊牛	19	339	186
福牛	10	135	15
志茂1	17	339	92
志茂2	22	485	55
永田	24	485	78
長沢	23	515	39
加美	33	641	24
本町	11	178	0
計	261	5,692	1,084

※ 耕作放棄地 —— 過去一年以上作付けせず、将来とも作付けする意思のないもの

# 消費生活係

## 1 消費者意識の啓発

現代の消費者は、生命、健康にかかわる有害食品、欠陥商品、公害問題、物価問題等と、あらゆる面で弱い立場におかれておりますが、これからの消費者は、これらの状況の中で、かしく判断し、強い行動を通じて消費者の権利を主張できることが要求されています。そこで、このようなかしく消費者づくりのため、次のような方法で消費生活上の必要な知識、情報の提供に努めた。

### (1) 情報の提供

ア 「消費者のために」の小冊子を発行した。

イ 消費者コーナーボックス(市内の5箇所設置)を通じての、消費者向パンフレットを配布した。

ウ 市広報の消費者コーナーの中で、本年度は特に無関心層の啓発に重点をおいた情報の提供に努めた。

### (2) 講演会、懇談会、施設見学会等

消費生活に密着した問題等を直接消費者が参加することによって見聞を広げるため、年間を通じ7回開催した。

### (3) 消費生活展

これまで、市内の生活学校や消費生活モニターが学んできた消費生活に関する知識を、市民に知らせることにより、より多くの市民に消費者意識を定着させるため「みんなの消費生活展」と題して実施した。

## 2 消費者相談

消費者の日常生活上における、商品及びサービスの取引に伴い発生する苦情等を、関係行政機関との連携のもとにすみやかに処理をした。

### ○ 相談件数(32件)

(内 訳)

食 品 関 係	15 件
織 維 関 係	1 件
雑 貨 関 係	11 件
そ の 他	5 件

### 3 消費生活モニター

消費者が、消費生活上最も感心をもっている意見、要望、苦情等を市内一般家庭婦人から聴取し、その実態をは握するため、20人の方々に委嘱し、市の行ったアンケート、小売物価統計調査、講演会等への参加をとおして貴重な意見等をいただき、より一層の消費者行政の推進を図った。

### 4 物価対策

市内の小売業を主とする店舗を対象とし、市民が日常生活上必要とする品目について物価の変動を調査し、市行政に資するため実施した。本年度は特に生鮮食品、雑貨等を中心に42品目について小売物価の変動を調査した。

また、福生市市民生活安定緊急対策本部による学用品の割引セールの実施、生鮮三品の産直、安売デー等の実施について市内小売業者に対しての要望等を行った。

### 5 計量器検査

計量器は、消費者が上手な買物をし、合理的な家庭生活を営むうえで、重要な役割を果たしている。そこで市では、東京都計量検定所及び東京都計量協会により事業所用計量器定期検査並びに家庭用計量器の無料検査及び修理を行った。

事業所用計量器定期検査

	検査数	合格	不良	不良率
計量器	689	664	25	3.6%

家庭用計量器の無料検査

	検査数	合格	不良	不良率
計量器	637	584	53	8.3%

### 6 家庭菜園

消費者行政の一環として、市民がみずからの手で野菜をつくり、価格形成の研究と、健全な余暇利用を図ることを目的として設置したところではありますが、当市においても宅地化が進み団地やアパート等がふえ、緑が少なくなったことや週休2日制が普及し、自由時間が増えたこと、また、物価の高騰等とあいまって、予想以上の反響を呼び応募者が殺到した。

そこで49年度は、4箇所増設した。

菜園の名称	位 置	面 積	区画数	申込者	倍 率	開園日
熊 川 東	熊川247, 412	1,980 <sup>m<sup>2</sup></sup>	150	181 <sup>人</sup>	1.20	49. 4. 1
加 美 平	福生1,518	1,064	80	274	3.40	〃
加美平第2	〃 1,617	652	48	193	4.00	49. 5. 1
鍋 2	熊川1,347	2,110	160	269	1.70	49. 7. 1
牛 浜	牛浜 102	900	68	167	2.40	50. 4. 1
南 田 園	福生3,203	1,005	87	261	3.30	50. 4. 1
計		7,711	593	1,345	2.20	

# 農 務 係

## 農 業 振 興

市街化区域内の農業経営は、都市化の出現でますますむずかしい状態にある。こうした中で農業委員会と連携を取りながら農業の育成指導及び農業保全に力を入れ、これを行った。現在市の緑地保全要綱に基づいて行っている税の生産緑化は、市街化の中での農業を営むのに役立っているものと考えられる。このような現状の中で飛行機の離着陸による農耕租害の申請手続、家畜経営者の家畜に対する予防注射、農業共済事務組合等の事務手続等を実施した。

## 緑化推進及び緑化保全

昭和48年度から実施している農地の宅地並課税に伴う施策として実施した市の緑地保全要綱に基づき本年度はB農地を対象に指定を行ったが、多くの指定地を設けることができた。また、昭和47年度から実施している出生児に対する市の木（もくせい）の配布及び、公共施設に対する樹木の植樹、市民からの不用樹木の無償譲受け、そして今年度からあらたに市内の農耕者に苗木育成委託を実施し、良好な成績を得ている。また、緑の大敵アメリカシロヒトリの防除作業を実施し、緑化の推進及び保全に積極的にこれを実施した。

### 1 農耕地、農家戸数調査（ただし、昭和47年度調査）

農 耕 地 調 査		農 家 数 調 査	
区 分	地 積	区 分	戸 数
田 ・ 畑	8,161 a	30 以下 a	210
樹 園 地	585	31～50	68
茶 園	189	51～100	59
桑 園	655	100 以上	9
計	9,590	計	346

## 2 経営者等調査（ただし、昭和47年度調査）

区 分	頭 羽 数	戸 数
ソ 菜 経 営 者	—————	8
養 蚕 経 営 者	—————	10
植 木 生 産 経 営 者	—————	40
乳 牛 飼 育 者	65 頭	9
養 豚 飼 育 者	53 頭	25
養 鶏 飼 育 者	600 羽	24

## 3 緑化推進事業

### (1) 出生児記念樹配布

昭和49年4月1日～昭和49年9月30日生 10月実施

568人該当 378本配布 配布率 66.5%

昭和49年10月1日～昭和50年3月31日生 4月実施

479人該当 339本配布 配布率 70.7%

合計 1,047人該当 717本配布 配布率68.4%

### (2) 公共施設植樹

学校関係	ドウダン	20本
	チンチョウゲ	10本
	カイドウ	10本
	ヒマラヤ杉	10本
	その他	44本
公園関係	つつじ	150本
	かえで	3本
	その他	5本
福祉関係	もくせい	290本
	さざんか	28本
	桜	20本
市民体育館	チンチョウゲ	12本
	ユッカ	5本
	コブシ	2本

市役所 つつじ 250本

(3) 不用樹木の譲受け

ヒマラヤ杉 2本

イチョウ 4本

松 1本

(4) 苗木育成委託事業

(目的) 福生市における緑化を積極的に推進するため、市内の農耕者に引き続き3年間、緑化用苗木の育成管理を委託する。

委託者 市内農業者 2人

面積 35.3アール

圃場場所 福生市志茂115番地

福生市福生字河原2,989-3

〃 〃 2,993

〃 武蔵野台1丁目15-3

〃 〃 2丁目31-1

委託期間 昭和49年4月1日～昭和52年3月31日

品種及び本数 もくせい(市の木) 2年生苗木 1,900本

つつじ(市の花) 〃 6,000本

実績 一部のもくせいについて、害虫のため被害を受けたが、他は管理状態も良いため、育成苗木の成長も良く、52年3月の収穫期に向けて順調に推移している。

(5) 福生市植木圃場

緑化の一環として、不用樹木の譲受け後の一時植樹や公共施設等への植樹の際の一時苗木の仮植場として市の圃場を設け、福生市植木苗木生産組合と委託契約し、その圃場に対する樹木の病虫害予防、防除、除草等をし、管理運営を行った。

圃場場所 福生市武蔵野台1丁目28番

面積 734.12平方メートル

植樹本数 393本

植樹内訳 もくせい(小)182本 もくせい(大)1本 トウカエデ4本

センダン81本 つつじ4本 松94本 その他27本



#### 4 緑化保全事業

##### (1) 緑化保全事業

昭和48年度から引き続き指定分 (A農地、平地林)

種 別	件 数	筆 数	面 積
A 農 地	2 件	3 筆	2,810.68 m <sup>2</sup>
平 地 林	11	35	46,929.00
計	13	38	49,739.68

昭和49年度指定分 (B農地、平地林)

種 別	件 数	筆 数	面 積
B 農 地	177 件	482 筆	351,593.57 m <sup>2</sup>
平 地 林	3	3	4,375.00
計	180	485	355,968.57

##### (2) アメリカヒロントリ防除事業

区 分	内 訳	備 考
6 月	2,680本 垣根他360m	桜490本 桑168本 柳113本 プラタナス75本 かき41本 その他1,793本 茶、垣根360m
7 月	5,829本 垣根他250m	桜1,063本 桑414本 プラタナス251本 かき239本 柳106本 その他3,756本 茶、垣根250m
8 月	4,327本 垣根他160m	桑945本 桜762本 かき309本 プラタナス162本 柳43本 その他2,106本 茶、垣根160m
9 月	3,684本 垣根他475m	桑613本 桜539本 かき161本 プラタナス77本 柳39本 その他2,255本 茶、垣根475m
計本数	16,520本 茶、垣根他1,245m	
防除薬剤	DEP 172本 DDVP 85本	ディブテックス乳剤 デップ乳剤
防除人員	延人員 358人	作業員 6人